



8月2日  
本日の運転手は、  
「車両運転体験」参加者募集中  
あなたです。

好評の「車両運転体験」参加者を募集します。※往復はがきによる事前申込制

日時 8月2日回 午前・午後各15人(計30人)

場所 金田駅構内6番線150m区間(1往復)

参加資格 小学3年以上(小学生参加の場合は保護者同伴)

参加費 2,000円(大人・子ども同額)

申込締切 7月15日(日) 必着。

その他 詳しくは平成筑豊鉄道までお問い合わせください。



7月は  
へいちく定期券販売強化月間。  
「懸賞付き定期券」発売中

期間中に平成筑豊鉄道線内の定期券(JR連絡定期券を除く)を購入した人を対象にプレゼント。

期間 7月1日(日)~7月31日(日)

- ①等 抽選で10人に「定期券1ヶ月分」サービス
- ②等 抽選で50人に「回数券100円券(11枚綴り)」1冊プレゼント
- ③等 購入者全員に「ちくまるうちわ」または「へいちくペンシル」1本プレゼント

▼全国には、多数の公立病院・診療所があり、いずれも苦しい経営を余儀なくされているようだ。それぞれ設立された経緯等は異なっているかも知れないが、その底流には、地域住民の『いのち』と安心を守るという行政的使命感があったに違いない。しかし、最近では、財政負担(費用対効果)ばかりがクローズアップされ、経営状況そのものが、公立病院等の存廃の重要な指標となってきたのは、避けられない現実だと思ふ。つまり、自治体の財政事情が、地域医療の身を決定すると言っても言い過ぎではないだろう▼2つの診療所(コスモス診療所と方城診療所)を持つ福智町にとって、財政問題は度外視して医療・福祉の推進を図るのか、あるいは適正な財政負担の範囲で限定的な取り組みを進めていくのかは、非常に迷うところである。そうした中で、診療所の経営改善に向けた方針を、4月の広報紙に報告しているが、その後コスモス診療所のデイケア部門については、2千5百名を越える方の署名を添えて、存続してほしいとの嘆願書が寄せられた。気持ちは痛い程わかるが、方針通り6月廃止したい▼福智町は、1年間の住民サービスを実施するのに必要な金額(予算)のうち、自前で調達できるのは、せいぜい2割前後である。あとは、地方交付税や国・県の補助金・助成金、そして地方債(借入)を頼りにするしかない町にとって、赤字要因は排除して必要最低限の機能(外来診療)を確保するという苦渋の選択となったことを、是非ご理解いただきたい。また、4月以降、民間のデイケアサービスに転じた方で、むしろ良かったという声も聞こえてきているのだが……。

浦田 弘二

